



幼児期に大切な学びって？
遊びは学び 学びは遊び “やってみたいが学びの芽”
加治木幼稚園の教育活動について

加治木幼稚園長 川畑 敏彦

幼児期は「遊び」の中で周りのヒト・モノ・コトに自ら進んで関わりながら、豊かでさまざまな体験を通して、「学びの芽」を育んでいく時期になります。

加治木幼稚園でも、りす、うさぎ、きりん組、それぞれのクラスで発達段階に応じた保育活動を行っていますが、どのような意図を持って、どのような子供に育てていきたいのかを幼稚園だけでなく、家庭と同じベクトルで連携を図っていくことが大切であると考えています。この資料で、少しでも幼稚園活動の意味を理解していただけたらと考えます。

1 どんな子供を育てたいのか

園児ひとりひとりの「自立」と「道徳性」を育んでいきたい

2 そのために、加治木幼稚園ではこんな研修を行っています

『学びの芽』を育む保育の創造 ～環境構成と見える化を通して～

- ① 「遊びの選択」を保証する環境構成の在り方
- ② 「学びの芽」を捉えるドキュメンテーションの在り方
- ③ 幼保小連携の在り方

3 具体的な取組

① 自己決定の場を大切にする(自立)

○活動の場面で子供たちが自己決定できる場面を意図的に設定する。

- ・だれと(一人で、友達と、先生と)するのか決める
- ・自分は何がしたいのかを決める
- ・いつまでするのか決める

② 自発的な活動を生み出す環境設定(道徳性)

○異年齢活動やクラス以外の人たちと関わる機会を増やす。

- ・相手を思いやる心や他人との関わり方を学ぶ

③ 毎月1回「なかよしタイム」の設定

○第1回目:7月14日10:00～11:15(廃材遊び) 第2回目:9月9日10:00～11:15(予定)

④ 子供の成長の記録を残す

○ドキュメンテーションの作成(次ページ)

※ドキュメンテーションとは？

子供の遊びをていねいに見取りながら、幼児期の終わりまでに育てたい姿とのつながりを意識して、子供の遊びの中で見られた姿を示したものになります。このドキュメンテーションを作成することで、遊びの中で育まれる幼稚園教育において育みたい資質・能力について考え、日々の保育を振り返る手立てとなります。また、作成した記録を職員全体で共有することで、学年による発達段階や子供の様子等に気づき、環境構成を検討していく手がかりとなります。さらに、家庭とも共有することで、子供の成長の様子がわかり、家庭での子供への声かけ等へ役立ていただければと考えています。

今後、作成したドキュメンテーションについては、配信していく予定です。子供たちの様子やどんな意図を持って活動を行っているのかをご理解ください。



【ドキュメンテーションの実際】

教師が行った意図的な環境構成

活動内容

○遊びのきっかけ○

どのようなきっかけや関わりの中で遊びが生まれたのか？

新聞紙で遊ぼう！

年長きりん組 6月

○遊びのきっかけ○

毎朝している運動遊びの中で、新聞紙を使ってゲーム遊びをした。新聞紙を使っていろいろなゲーム遊びをしていると、だんだん小さくなる新聞紙におおはしゃぎの子ども達。

活動に関係する十の姿を記号で表記

子供の発言・つぶやき



長く破れる？

穴が開いたよ



次の日

登園後すぐにテープをつけてボール作り

たくさん遊んだ新聞紙を使って絵を描いてみた



お山にしようよ〜!

集めて〜



かけて〜

活動を通して得られた学びの姿



シャワー!

海をイメージした絵がたくさんできた。



何ができるかな?

たくさんの新聞紙を破り、友達と一緒にシャワーにしたり、寝転んだりして遊んだ。遊ぶ中で新聞紙を海や布団などにイメージし、絵に表現することで何ができるか創造する力も育つ。

今後、ドキュメンテーションを共有していきますので、ぜひ家庭で話題にさせていただき役立ててください

A：健康な心と体

B：自立心

C：協同性

D：道徳性・規範意識の芽生え

E：社会生活との関わり

F：思考力の芽生え

G：自然との関わり・生命尊重

H：数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

I：言葉による伝え合い

J：豊かな感性と表現

○ 幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿 ○

A:健康な心と体 B:自立心 C:協同性 D:道徳性・規範意識の芽生え
E:社会生活との関わり F:思考力の芽生え G:自然との関わり・生命尊重
H:数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 I:言葉による伝え合い
J:豊かな感性と表現

1つの活動の中で、すべての姿が育つわけではありません。しかし、記録を蓄積していくことによって子供の成長が明確になり、それらを共有することによってよりよい教育効果が得られます。

